

平成27年度予算可決

平成27年度予算は、合併10周年を迎え、公共施設の見直しなど将来の市政運営に向けた事業が予算化されました。予算総額は385億4千85万8千円で前年度比63%の減となっております。

一般会計予算は統合庁舎増築棟が完成し、213億1千200万円で前年度比14%の減、特別会計は、医療・介護分野の予算が増え全体として6.3%の増となりました。

主な事業

【議会費】

◆議会放送業務委託

137万円

◆支所整備事業

1千990万円

【市制10周年】

◆10周年記念式典事業

173万円

【施設整備】

◆公共施設等総合管理計画策定事業

319万円

【防災】

◆災害対策推進事業

1億437万円

◆統合庁舎整備事業

9億6千921万円

（地域防災計画修正・防災マップ印刷など）

【一般会計】

【財政】

質疑 平成27年度規模の予算が続いた場合、基金、市債などの将来見込みは。また、他会計への繰り出しの現況と今後の見通しは。

答弁 基金を取り崩す場合、平成30年度末に財政調整基金が、31年度末に公共事業整備基金がなくなり、32年度末には他の基金を取り崩しても対応ができなくなる。市債残高では、臨時財政対策債を現状のまま借り入れると、32年度末で175億8千616万2千円となる。他会計への繰り出しについては、合計21億5千367万2千円を予算計上した。

今後は、農業集落排水事業、公共下水道への繰り出しは、公営企業繰り出し基準に適合する基準を設けて対応。国民健康保険と後期高齢者、介護保険の各特別会計では、市単独で負担している分は、事務事業の見直しの中で基準を持つて繰り出す必要が

ある。

【施設整備】

質疑 支所整備事業の組織支所の設計で、住民の要望、意見は聞くのか。確定申告の会場、集会室の考えは。

答弁 パブリックコメントで意見も聞いて整備計画を策定した。効率的な行政サービスへの提供のためにも、必要最小限の増築が必要。確定申告の関係では、周辺の公共施設、既存施設を活用していくことも今後検討する。

質疑 親水公園の整備について、なぜ整備することに変わったのか。なぜ市民の要望である広場や森ではなくスポーツに関するものをつくるのか。

答弁 親水公園東ゾーンの外周を県補助金を受けて整備したが、昨年度に県から、園内が未整備で未供用では県補助金の事業効果がないことは問題であると指摘を受けた。

【市制10周年】

利用者が多く競技が盛んなスポーツ施設を考えている。

質疑 10周年記念行事は、記念式典よりも、広く市民が参加してもらえる形にすべきでは。

答弁 表彰、感謝状の贈呈、ビデオ上映などを予定している。

答弁 表彰、感謝状の贈呈、ビデオ上映などを予定している。式典とは別に、27年度1年を通じて、各課で実施する事業に冠をつける。広く10周年をPRする観点で、多くの市民が参加できるような事業、工夫を考えていきたい。

【防災】

質疑 防災マップ整備事業について、具体的な中身、掲載内容、作成手順は。

答弁 昨年5月に愛知県が公表した南海トラフ地震の被害予測結果をもとに、12小学校区に分け、地区別の防災評価や課題を抽出して地図化し、防災カルテとしてまとめ